

令和元年度広島体育学会

講演会および研究発表例会

- ◆ 日時：令和元年12月8日（日） 13：00～17：35
- ◆ 場所：広島文化学園大学 坂キャンパス 第1大講義室（2309教室）
- ◆ 13：00～ 開会挨拶
- ◆ 13：10～14：30 特別講演
座長：出口 達也（広島大学大学院）
演者：小塩 康祐（大学スポーツ協会法務担当弁護士）
演題：スポーツ指導者のためのコンプライアンス（仮題）

【休憩 10 分】

- ◆14：40～15：40 話題提供発表及び一般研究発表①（発表時間 10 分，質疑応答 5 分）

《話題提供発表》

1. 松田 雄大（広島大学大学院教育学研究科）
アルティメットを用いた授業に関する研究－オフザボールの動きに着目して－

《一般研究発表》

2. 加地 信幸（広島文化学園大学人間健康学部）
重度・重複障害児者を対象としたアダプテッド・スポーツ実践に係る用具開発研究
3. 三浦 有花（広島大学大学院総合科学研究科）
左右異なる高さの障害物をまたぎ越す際のクリアランス
4. 下田代 祐輔（広島大学大学院総合科学研究科）
ポズナー課題を用いた左右に対する反応予測が与える影響

【休憩 10 分】

- ◆15：50～17：35 一般研究発表②（発表時間 10 分，質疑応答 5 分） ※ 学生優秀発表賞対象

5. 清水 裕貴（広島大学大学院教育学研究科）
高齢者の立位バランス機能に関する研究－ウォーキングの継続的参加の効果について－
6. 山田 浩貴（広島大学大学院総合科学研究科）
重心状態の正確性要求度が前方ステップの運動制御に与える影響
7. 尾崎 雄祐（広島大学大学院教育学研究科）
一人の400m ハードル選手における，レース分析を用いたトレーニング課題の設定－達成プロセスの事例的検討：11年間のトレーニングと記録，レースパターンの変遷に着目して
8. 稲井 達也（広島大学大学院教育学研究科）
陸上競技400m 走における競技力と呼吸意識との関係

9. 藤島 廉（広島大学大学院教育学研究科）

中学生を対象とした体ほぐしの運動の授業実践研究 ―他者との関わり合いと学習動機に着目して―

10. 菅根 大幹（広島大学大学院総合科学研究科）

暑熱環境下における運動中の身体冷却は体温上昇を抑制し、認知パフォーマンスを改善させる

11. 高見 健太郎（広島大学大学院教育学研究科）

アダプテッド・スポーツの教育的効果に関する研究―高等専門学校における授業実践を事例に―